ZENMU Virtual Desktop version 1.4.3 XML によるカスタマイズ

2021 年 4 月 22 日 株式会社 ZenmuTech

目次

1. 柞	既要	
2.	設定 XM	ILファイル「ZVDesktop_Config.xml」2
3. Z	ZENMU	Virtual Desktop のログファイルの保存期間設定2
4. 1	仮想ドライ	イブ新規作成時の既定値の設定と設定画面のカスタマイズ
4.1	. 仮想	見ドライブ新規作成時の設定項目
4	.1.1.	仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定6
4	.1.2.	仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定9
4.2	. 仮想	見ドライブ変更画面における各項目の変更可否設定10
4.3	. オフ	ラインストレージの選択リストの設定11
4.4	. 特定	ミドライブに対するエクスプローラーでの表示、アクセスの制御の設定12
5. ì	重用の詳	細設定14
5.1	. 管理	里者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除を可能とする設定
5.2	. マウ	ント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定15
5	.2.1.	プログラムの起動トリガーとなるタグについて16
5	.2.2.	プログラムの起動設定方法の詳細17
5	.2.3.	ZENMU Virtual Desktop の引数について18
5.3	. アン	マウント時に削除するファイルの指定19
5.4	. 仮想	息ドライブに移動するフォルダーの指定20
5.5	. バッ	ファロー社製暗号化 USB RUF3-HS 使用の設定21
5.6	. 特定	ミのアプリケーションをアンマウント時に終了対象外に指定22
6. Z	ZENMU	モードスタート画面の設定23
7. í	仮想ドラ・	イブ作成後のロールバック設定変更24
8. 1	付録	
8.1	. One	eDrive のキャッシュフォルダーを仮想ドライブに設定した場合の設定方法
8	.1.1.	仮想ドライブの作成
8	.1.2.	OneDriveの同期を停止
8	.1.3.	OneDrive への再ログイン27
8	.1.4.	OneDrive フォルダーの場所の変更27
8	.1.5.	OneDrive を仮想ドライブ上で利用28
8	.1.6.	注意事項 : OneDrive 側でのバックアップの禁止28
8	.1.7.	「設定 XML ファイル」記載方法29
8.2	. VPN	N クライアントを ZENMU モードスタート画面に表示する場合の設定方法

1. 概要

本ドキュメントでは ZENMU Virtual Desktop version1.4.3 (以下 Ver1.4.3) における、設定ファイル XML 「ZVDesktop_Config.xml」による設定方法について説明します。

2. 設定 XML ファイル「ZVDesktop_Config.xml」

Ver1.4.3 をインストールすると C:¥ZenmuTech¥ZVDesktop に「ZVDesktop_Config.xml 」(以下「設定 XML ファイル」が作成されます。

「設定 XML ファイル」を編集し、ZENMU Virtual Desktop の新規作成画面、設定画面、動作を設定・制御することができます。XML ファイル形式のため、Windows のメモ帳等のエディターで編集、保存が可能です。

設定は XML のタグ、値、属性値で指定します。本書で定義している以外の XML のタグ、値、属性値を指定することはできません。指定した場合は、有効とならず、ZENMU Virtual Desktop の設定に影響することはありません。

3. ZENMU Virtual Desktop のログファイルの保存期間設定

ZENMU Virtual Desktopのログファイル(「C:¥ZenmuTech¥ZVDesktop¥log」フォルダー配下に保存)の保存期 間(日)を設定可能です。「設定 XML ファイル」の初期設定値 30 日が設定されていますが、運用に合わせて仮想ドライ ブ作成後も変更は可能です。

例)

```
<?rml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
<Log>
<SavePeriod>30</SavePeriod>
</Log>
</ZVDesktop>

● 親タグ: <ZVDesktop><Log>

タグ 値
SavePeriod ログファイルの保存数の値を指定。
```

例: <SavePeriod>30</SavePeriod>保存期間(日)

ログファイルは logYYYYMMDD.txt のフォーマットファイル名で日ごとにファイルが作成されます。ファイル数が指定数を超えた場合は、古いファイルから順に自動的に削除されます。

4. 仮想ドライブ新規作成時の既定値の設定と設定画面のカスタマイズ

4.1. 仮想ドライブ新規作成時の設定項目

仮想ドライブ新規作成時に、新規作成画面で指定する項目と、「設定 XML ファイル」で独自に設定できる項目の既定値を 設定することが可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
  <Operation>
   <!-- 仮想ドライブ作成時の初期設定 -->
   <DefaultValue>
   <!-- 仮想ドライブ設定 -->
     <VDriveName
                           default="ZVDesktop ドライブ" />
     <VDriveLetter
                           default="Z"
                                          />
                           default="500MB" />
     <VDriveSize
   <!-- 詳細設定: ZENMU モード -->
                           default="on"
     <7enmuMode
                                          />
     <FolderRedirect
                           default="on"
                                          1>
     <MoveBrowserCacheFoler default="on"
                                          />
   <!-- 詳細設定:エクスプローラ上で非表示、アクセス禁止にするドライブ -->
                           default="on"
     <NoDriveRemovable
                                          />
                           default="on"
     <NoDriveHDD
                                          />
                           default="on"
     <NoDriveCD
                                          />
     <NoDriveNetwork
                           default="off"
                                          />
   <!-- 詳細設定:フルバックアップ -->
     <ReserveBackupArea
                           default="on"
                                          />
   <!-- 詳細設定:自動ロック -->
     <IdleTimerLockEnabled
                                    default="on" />
                                    seconds="1800" />
     <IdleTimerLockThreshold
   <!-- 仮想ドライブ新規作成時に画面設定不可の項目 -->
   <!-- 仮想ドライブ -->
     <Rollback
                                   default="on"
                                                        1>
                                   default="10" add="10" />
     <RollbackCommitNotifyCycle
     <RollbackCommitNotifyCountDown default="0"
                                                        1>
     <File1 path type="file" path="%USERPROFILE%\AppData\Local\ZenmuTech\%USERNAME%.znm" />
   <!-- 外部ストレージ -->
     <File2Secondary default="on" device="usbmemory" path type="folder" path="E:\Test"
                                                                                     />
   <!-- マウント -->
     <SystemWideVDrive
                                    default="on"
                                                />
     <SkipPasswordInput
                                    default="on"
                                                 />
     <!-- マウント中のストレージ切断時の動作 -->
                                    default="on" />
     <DisMountOnDevicePlugout
                                    default="off" />
     <LockWindowsOnDevicePlugout
     <WaitSecondsAfterDevicePlugout default="10" add="10" />
   <!-- アンマウント -->
                                    default="off" />
     <AskAppsToExitBeforeUnMount
                                    default="off"
     <KillAppsBeforeUnMount
                                                />
                                   default="on" />
default="off" />
     <DoNothingForAppExit
     <DeleteTempFolderOnUnMount
   <!-- Windows のサインアウト、シャットダウン、再起動、スリープ、休止メニューの表示設定-->
                                    default="off" />
     <WinBtnNoClose
                                    default="off" />
     <NoLogOff
   </DefaultValue>
  </Operation>
</ZVDesktop>
```

● 仮想ドライブの新規作成画面で設定可能な項目

仮想ドライブの新規作成画面において、カスタマイズできるタグ、及び対応する設定画面の対応は以下になります。

タグ	ダイ	アログ名	用途
VDriveName	ZEN	NMU Virtual	仮想ドライブ名
VDriveLetter	Des	sktop	仮想ドライブ文字
VDriveSize	仮想	見ドライブ設定	仮想ドライブサイズ
ZenmuMode	詳	ZENMU モード	ZENMU モードを利用する
FolderRedirect	細		リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー
MoveBrowserCacheFolder	設		インターネットエクスプローラーの一時ファイルフォルダー
NoDriveHDD	定	エクスプローラー	コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ
NoDriveRemovable		上で非表示、	USB メモリー、リムーバブルディスクのドライブ
NoDriveCD		アクセス禁止に	CD/DVD のドライブ
NoDriveNetwork		するドライブ	ネットワークドライブ
ReserveBackupArea		フルバックアップ	フルバックアップ用の領域を確保する
IdleTimerLockEnabled		自動ロック	一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロック
			する
IdleTimerLockThreshold			自動的にロックする際の閾値

※Ver 1.4 以降では、「タグ MoveFolderByJunction/用途 設定 XML ファイルに指定されているフォルダー」に対する指定は できなくなりました。Ver1.4 以降では、本設定は on(チェック)で固定となったためです。

● 仮想ドライブの新規作成画面で設定不可な項目

「設定 XML ファイル」で値を指定しない場合は ZENMU Virtual Desktop の既定値が設定されます。 以下は、仮想ドライブ作成後に「ZENMU Virtual Desktop の設定」で変更可能な項目です。

タグ	ダイ	(アログ名	用途
Rollback	仮た	息ドライブ	ロールバック設定
RollbackCommitNotifyCycle			ロールバックデータの保存の通知
RollbackCommitNotifyCountDown			ロールバックデータの保存の通知後の自動保存
File2Secondary	外部	部ストレージ	分散ファイル 2(オフラインストレージ)の設定
SystemWideVDrive	マ	マウント	仮想ドライブをシステムワイドで利用可能にする
SkipPasswordInput	ウ		マウント時、設定変更時の Windows ログオンをスキッ
	ン		プする
DisMountOnDevicePlugout	ト	マウント中のスト	外部ストレージが切断状態になると、仮想ドライブを利
		レージ切断時の	用不可にする
LockWindowsOnDevicePlugout		動作	外部ストレージが切断状態になると、Windows をロッ
			クする
WaitSecondsAfterDevicePlugout			外部ストレージが切断状態になった際に、仮想ドライブ
			を利用不可にする、または Windows をロックするまで
			の時間を指定する
AskAppsToExitBeforeUnMount	アン	マウント	アプリケーションの終了を確認する
KillAppsBeforeUnMount			仮想ドライブを使用しているアプリケーションを強制
			終了する
DoNothingForAppExit			アプリケーションの終了を行わない
DeleteTempFolderOnUnMount			アンマウント時に Windows の一時ファイルを削除する

以下は、仮想ドライブ作成後は変更できません。

タグ	ダイアログ名	用途
File1	仮想ドライブ	分散ファイル 1(ローカルディスク)の設定
WinBtnNoClose	なし	Windows メニューから、「シャットダウン、再起動、スリ ープ、休止」を削除する
NoLogOff	なし	Windows メニューと Ctrl+Alt+Delete で出る画面 から、サインアウトを削除する

4.1.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定

仮想ドライブ新規作成時の各項目(タグ)とその属性です。属性値に仮想ドライブ新規作成時の既定値を指定します。 (表中の「例:」は ZENMU Virtual Desktop の初期の既定値)

• 親タグ: <ZVDesktop><Operation><DefaultValue>

タグ	属性	属性值		
VDriveName	default	仮想ドライブ名を指定。		
		例: default="ZVDesktop ドライブ"		
VDriveLetter	default	仮想ドライブのドライブ文字「A~Z」を指定。		
		例: default:="Z"		
VDriveSize	default	仮想ドライブのサイズを指定。(500MB、1GB~30GB)		
		<u>4.1.2.</u> <zvdesktop><ui><create><vdrivesizeoption>の</vdrivesizeoption></create></ui></zvdesktop>		
		value 属性で指定した GB 数に限り、30GB を超える値も指定可能。		
		例: default="500MB"		
ZenmuMode		詳細設定:ZENMU モード		
FolderRedirect	default	on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。		
MoveBrowserCacheFolder		例: default="on"		
ShowStorageIndicator				
NoDriveHDD		詳細設定:エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ		
NoDriveRemovable	default	on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。		
NoDriveCD		例: default="on"		
NoDriveNetwork				
ReserveBackupArea		詳細設定:フルバックアップ		
	default	on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。		
		例: default="on"		
IdleTimerLockEnabled		詳細設定:自動ロックの一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロ		
	default	ックする		
	acidait	on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。		
		例: default="on"		
IdleTimerLockThreshold		自動ロックする際の閾値(秒)		
	seconds	300、900、1800、3600 のいずれかを指定可能。		
		例: seconds="1800" (30 分間 PC の操作が行われなかった際に PC を		
		<u>ロックする)</u>		
Rollback	default	ロールバック用ファイル作成		
		on(チェック)/oft(チェックアワト)を指定。		
RollbackCommitNotifyCycl	default	ロールバックテータの目動保存時間 (分)を指定。		
e				
		未指定の場合:"10" (10 分ごと)		
		17j: uerduit= 10 (10 万ことに目影休仔)		
	add	リストに表示されない新規の通知時間(分)を追加。		
		追加した値を上記 default 値として指定可能。		
		例: add="10" (10 分ごとに自動保存を追加)		

RollbackCommitNotifyCou	default	ロールバックデータ通知と通知後の自動保存間隔(秒)を指定。
ntDown		"-1":「通知のみ」、 "0":「通知せず、すぐに保存」
		未指定の場合:"0"(通知せず、すぐに保存)
		例: default="0"
	add	リストに表示されない自動保存間隔(秒)を追加。
		追加した値を上記 default 値として指定可能。
		例: add="15" (15 秒後に自動保存を追加)
File1	path_ty	属性: path に指定するファイルパスのタイプ
	ре	"file"(ファイル名)/"folder"(フォルダー名)を指定。
		例: path_type="folder"
	path	path_typeの属性値に対応する、ファイル名/フォルダー名を指定。
		■ファイル名 例:
		path_type="file"
		path="%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥ZenmuTech¥%US
		ERNAME%.znm"
		・ファイル名の最後に拡張子「.znm」を付与
		■フォルダー名 例:
		path_type=" folder"
		path="%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥ZenmuTech
		環境変数の指定が可能。「ZENMU Virtual Desktop の」設定画面には、
		環境変数が展開されて表示されます。
File2Secondary	default	オフラインストレージ on(設定)/off(非設定)を指定。
		例: default="on"
	device	オフラインストレージのストレージ
		"usbmemory" (USB メモリー)
		"iPhone" (iPhone USB)
		"androidBT" (Android Bluetooth)
		"iPhoneBLE" (iPhone Bluetooth LE)
		を指定可能。
		例: device="usbmemory"
	path_ty	属性 : device="usbmemory"の場合、属性: path に指定するファイル
	ре	パスのタイプを指定
		"file": ファイル名", folder": フォルダー名
		例: path_type="folder"
		属性 : device="iPhone" / "androidBT" / "iPhoneBLE"の場合は指
		定する必要なし
	path	属性:device="usbmemory"の場合、path_typeの属性値に対応す
		る、ファイル名/フォルダー名を指定。
		■ファイル名 例:
		path_type="file"
		path="E:¥test¥%USERNAME%.znm"
		・ファイル名の最後に拡張子「.znm」を付与

		■フォルダー名 例:
		path_type=" folder"
		path="E:¥test¥%USERNAME%"
		・注意:予めフォルダー存在することを確認する。Path で指定したフォルダーが
		存在しない場合は、仮想ドライブの作成がエラーとなる。
		属性 : device="iPhone" / "androidBT" / "iPhoneBLE" の場合は指
		定する必要なし。
SystemWideVDrive		マウント:マウント
SkipPasswordInput		on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。
	dofoult	例: default="on"
DisMountOnDevicePlugout	uerault	マウント:マウント中のストレージ切断時の動作
LockWindowsOnDevicePlu		on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。
gout		例: default="on
WaitSecondsAfterDevicePl		仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト時間(秒)
ugout	default	を指定。
		例: default="10"
	ədd	リストに表示されないタイムアウト時間(秒)を追加。
	auu	例: add="10"
AskAppsToExitBeforeUnMo		アンマウント時に他アプリケーションの終了方法の
unt		on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。
KillAppsBeforeUnMount	dofault	例: default="on"
DoNothingForAppExit	uerault	
		注意:排他制御。最上位が"on"の場合は、後続の"on"は無効。全て
		"off"の場合は、最下位の設定が有効
DeleteTempFolderOnUnMo	default	アンマウント時に Windows の一時ファイルの削除の
unt		on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。
		例: default="on"
WinBtnNoClose	default	Windows メニューの「シャットダウン、再起動、スリープ、休止」を
		on(削除する) / off(残す)を指定。
		例: default="off"
NoLogOff	default	Windows メニューと Ctrl+Alt+Delete で出る画面から、サインアウトを
		on(削除する) / off(残す)を指定。
		例: default="off"

4.1.2. 仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定

仮想ドライブ新規作成で各項目の変更可否を、属性: disp, 属性値: "enabled"(変更可) / "disabled"(変更不可)で設定することができます。未指定の場合は"enabled"となります。

例)

xml version="1.0" encoding="UTF-8"</td <td>?></td>	?>
<zvdesktop></zvdesktop>	
<ui></ui>	
<create></create>	
<vdrivename< td=""><td>disp="enabled" /><!-- 仮想ドライブ名--></td></vdrivename<>	disp="enabled" /> 仮想ドライブ名
<vdriveletter< td=""><td>disp="enabled" /><!-- 仮想ドライブのドライブ文字--></td></vdriveletter<>	disp="enabled" /> 仮想ドライブのドライブ文字
<vdrivesize< td=""><td>disp="enabled" /><!-- 仮想ドライブのサイズ--></td></vdrivesize<>	disp="enabled" /> 仮想ドライブのサイズ
<vdrivesizeoption< td=""><td>value="50" /></td></vdrivesizeoption<>	value="50" />
詳細設定:ZENMUモード	
<zenmumode< td=""><td>disp="enabled" /><!-- ZENMUモード--></td></zenmumode<>	disp="enabled" /> ZENMUモード
<folderredirect< td=""><td>disp="enabled" /></td></folderredirect<>	disp="enabled" />
<movebrowsercachefolder< td=""><td>disp="enabled" /></td></movebrowsercachefolder<>	disp="enabled" />
詳細設定 : エクスプローラー上</td <td><u>:</u>で非表示、アクセス禁止にするドライブ></td>	<u>:</u> で非表示、アクセス禁止にするドライブ>
<nodrivehdd< td=""><td>disp="enabled" /></td></nodrivehdd<>	disp="enabled" />
<nodriveremovable< td=""><td>disp="enabled" /></td></nodriveremovable<>	disp="enabled" />
<nodrivecd< td=""><td>disp="enabled" /></td></nodrivecd<>	disp="enabled" />
<nodrivenetwork< td=""><td>disp="enabled" /></td></nodrivenetwork<>	disp="enabled" />
<reservebackuparea< td=""><td>disp="enabled" /><!-- 詳細設定 : フルバックアップ--></td></reservebackuparea<>	disp="enabled" /> 詳細設定 : フルバックアップ
<idletimerlock< td=""><td>disp="enabled" /><!-- 自動ロック--></td></idletimerlock<>	disp="enabled" /> 自動ロック

</ZVDesktop>

● 親タグ: <ZVDesktop><Ui><Create>

タグ	属性	属性值
VDriveName	disp	仮想ドライブ新規作成での変更可否を指定。
VDriveLetter		"enabled": 変更可
VDriveSize		"disabled": 変更不可
ZenmuMode		
FolderRedirect		
MoveBrowserCacheFolder		
NoDriveHDD		
NoDriveRemovable		
NoDriveCD		
NoDriveNetwork		
ReserveBackupArea		
IdleTimerLock		
※自動ロック設定に対応		
VDriveSizeOption	value	仮想ドライブのサイズ指定に選択肢を追加
		任意のサイズ(GB 単位)を整数で指定

4.2. 仮想ドライブ変更画面における各項目の変更可否設定

仮想ドライブ変更画面において、各項目の変更可否を、属性: disp, 属性値: "enabled" (変更可) / "disabled" (変更不可) で設定することができます。未指定の場合は"enabled"となります。

例)		
xml version="1.0" encoding="UTF-8"</td <td>?></td> <td></td>	?>	
<zvdesktop></zvdesktop>		
<ui></ui>		
<change></change>		
仮想ドライブ		
<vdrivename< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></vdrivename<>	disp="enabled"	/>
<vdriveletter< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></vdriveletter<>	disp="enabled"	/>
<rollback< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></rollback<>	disp="enabled"	/>
<rollbackcommitnotifycycle< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></rollbackcommitnotifycycle<>	disp="enabled"	/>
<rollbackcommitnotifycountdown< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></rollbackcommitnotifycountdown<>	disp="enabled"	/>
外部ストレージのオフラインス</td <td>トレージ設定></td> <td></td>	トレージ設定>	
<offlinestorage< td=""><td>disp="disabled"</td><td>/></td></offlinestorage<>	disp="disabled"	/>
マウント		
<systemwidevdrive< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></systemwidevdrive<>	disp="enabled"	/>
<skippasswordinput< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></skippasswordinput<>	disp="enabled"	/>
<dismountondeviceplugout< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></dismountondeviceplugout<>	disp="enabled"	/>
<lockwindowsondeviceplugout< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></lockwindowsondeviceplugout<>	disp="enabled"	/>
<waitsecondsafterdeviceplugout< td=""><td>disp="disabled"</td><td>/></td></waitsecondsafterdeviceplugout<>	disp="disabled"	/>
アンマウント		
<askappstoexitbeforeunmount< td=""><td>disp="disabled"</td><td>/></td></askappstoexitbeforeunmount<>	disp="disabled"	/>
<killappsbeforeunmount< td=""><td>disp="disabled"</td><td>/></td></killappsbeforeunmount<>	disp="disabled"	/>
<donothingforappexit< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></donothingforappexit<>	disp="enabled"	/>
<deletetempfolderonunmount< td=""><td>disp="disabled"</td><td>/></td></deletetempfolderonunmount<>	disp="disabled"	/>
その他		
<nodrivehdd< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></nodrivehdd<>	disp="enabled"	/>
<nodriveremovable< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></nodriveremovable<>	disp="enabled"	/>
<nodrivecd< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/></td></nodrivecd<>	disp="enabled"	/>
<nodrivenetwork< td=""><td>disp="disabled"</td><td>/></td></nodrivenetwork<>	disp="disabled"	/>
<idletimerlock< td=""><td>disp="enabled"</td><td>/><!-- 自動ロック--></td></idletimerlock<>	disp="enabled"	/> 自動ロック

● 親タグ: <ZVDesktop><Ui><Change>

変更画面において、以下の設定はカスタマイズできません。

タグ	項目	用途
VDriveSize	仮想ドライブ	仮想ドライブサイズ
ZenmuMode	ZENMU モード	ZENMU モードを利用する
FolderRedirect		リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー
MoveBrowserCacheFolder		インターネットエクスプローラーの一時フォルダー

変更画面において、以下の項目設定を変更することができます。

タグ	属性	属性値
VDriveName	disp	仮想ドライブ変更画面での変更可否を指定。
VDriveLetter		"enabled": 変更可
Rollback		"disabled": 変更不可
RollbackCommitNotifyCycle		
RollbackCommitNotifyCountDown		

OfflineStorage
~ジのオフラインストレ
ージ設定および、ZENMU ツールバーのオフライ
ンストレージ、オフラインモードメニューに対応
SystemWideVDrive
SkipPasswordInput
DisMountOnDevicePlugout
LockWindowsOnDevicePlugout
WaitSecondsAfterDevicePlugout
AskAppsToExitBeforeUnMount
KillAppsBeforeUnMount
DoNothingForAppExit
DeleteTempFolderOnUnMount
NoDriveHDD
NoDriveRemovable
NoDriveCD
NoDriveNetwork
IdleTimerLock
※自動ロック設定に対応

4.3. オフラインストレージの選択リストの設定

オフラインストレージ設定時に選択リスト表示する外部ストレージを指定し、表示することができます。未指定時はサポートしている全ての外部ストレージのリストが表示されます。

```
例)
```

親タグ: <ZVDesktop><Ui><SecondaryAvailability>

タグ	属性	属性値	用途
Storage	type	"usbmemory"	USB メモリー
		"iPhone"	iPhone USB
		"androidBT"	Android Bluetooth
		"iPhoneBLE"	iPhone Bluetooth LE

4.4. 特定ドライブに対するエクスプローラーでの表示、アクセスの制御の設定

C:¥, D:¥等ドライブごとに、またはドライブの種類(コンピューター内蔵ディスク、USB メモリー、CD/DVD、ネットワークドライ ブ)とドライブの組み合わせで、エクスプローラーでの表示、アクセスを制御することが可能です。「設定 XML ファイル」に <DriveAvailability>を追加します。コンピューター内蔵ディスクのドライブが C:¥, D:¥, E:¥の様に複数あり、かつ C:¥,D:¥をアクセス禁止、またはアクセス可能にする場合に本設定が利用できます。

なお、「ZENMU Virtual Desktop の設定」画面でも類似した設定が可能です。異なる点は、-「その他」-「エクスプローラ ー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定で「コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ」をチェックした場合は、 C:¥, D:¥, E:¥全てのハードディスクのドライブへのアクセスが禁止されます。

仮想ドライブのドライブ文字以外が指定可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
  <Operation>
    <DriveAvailability>
      <Available>
                   Drive="CD" />
        <HDD
        <Removable Drive="" />
                  Drive="" />
        <CD
                  Drive="" />
        <Network
        <ANY
                   Drive="E" />
      </Available>
      <Unavailable>
        <HDD
                  Drive="" />
        <Removable Drive="" />
                  Drive="" />
        <CD
                 Drive="" />
        <Network
                  Drive="CD" />
        <ANY
      </Unavailable>
    </DriveAvailability>
  </Operation>
</ZVDesktop>
```

- 親々グ: <ZVDesktop><Operation><DriveAvailability>に<Available>または<Unavailable>を指定することで、エクスプローラーで表示、アクセスの可否を指定できます。
 <Available><ドライブの種類 属性="属性値"> :表示、アクセス可能
 <Unavailable><ドライブの種類 属性="属性値">:表示、アクセス不可能
- 注意事項
- <Available> <Unavailable>の両方に同一のドライブ文字が指定されていた場合は<Unavailable>が指定されたとみなし、指定されたドライブを常にアクセス禁止にします。
- 「設定 XML ファイル」に記載した[ドライブの種類、ドライブ文字]の組み合わせを満たすドライブが PC に存在する場合、そのドライブ文字に関しては「設定 XML ファイル」の設定が優先されます。この場合、そのドライブ文字に関しては、「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定は無効となります。 例えば、以下の場合は設定 XML ファイルの設定が優先され、C ドライブにアクセス可能です。
 - ・ 設定画面 「その他」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」-「コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ」のチェックをつけて、表示・アクセスを禁止する
 - ・ 設定 XML ファイル C ドライブの表示・アクセスを許可する

• 親タグ: <ZVDesktop><Operation><DriveAvailability>

タグ	属性	属性値
HDD	Drive	コンピューター内蔵ディスクのドライブ文字を指定
		例:Drive="DE"
Removable		USB メモリーのドライブ文字を指定
		例:Drive="F"
CD		CD/DVD ドライブのドライブ文字を指定
		例:Drive="I"
Network		ネットワークドライブのドライブ文字を指定
		例:Drive="KL"
ANY		ドライブ種類を問わず、全てのドライブのドライブ文字
		を指定
		Drive="0"

5. 運用の詳細設定

5.1. 管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除を可能とする設定

Windows の「管理者」ユーザーのみが仮想ドライブの変更、削除可能にすることが可能です。本設定を行った場合、 Windows の「管理者」ユーザー以外が「ZENMU Virtual Destop 設定」画面で「変更」、「削除」ボタンをクリックした際 に、管理者権限を持つ別のアカウント、パスワードを入力し認証が必要となります。未指定の場合は、全ユーザーが仮想ドラ イブの変更、削除を行うことができます。

例)

<zvdesktop></zvdesktop>	
<operation></operation>	
<adminonlyfunction drive_change="true" drive_delete="true"></adminonlyfunction>	

● 親タグ: <ZVDesktop><Operation>

タグ	属性	属性值
AdminOnlyFunction	drive_change	"true"の場合は管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブを変更可能。未指定
		の場合の既定値は"false"。
		例: drive_change="true"
	drive_delete	"true"の場合は管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブを削除可能。未指定
		の場合の既定値は"false"。
		例: drive_delete="true"

5.2. マウント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定

マウント、アンマウント時等のトリガーで起動させるプログラム、バッチファイル、スクリプトファイルを指定することが可能です。また アンマウント直前に強制終了したいプログラム名を指定することも可能です。

```
例)
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
  <Operation>
   <RunCommand timeout="60000">
                     <!-- ZENMU モードでログオン直後 -->
     <ZenmuModeLogon>
       <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp> <!-- 例:メモ帳の起動 -->
     </ZenmuModeLogon>
                       <!-- 仮想ドライブ作成直前 -->
     <CreateBefore>
       <RunApp param="false" show="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </CreateBefore>
     <CreateAfter>
                      <!-- 仮想ドライブ作成直後 -->
       <RunApp>c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </CreateAfter>
     <MountBefore>
                       <!-- 仮想ドライブマウント直前 -->
       <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </MountBefore>
                       <!-- 仮想ドライブマウント直後 -->
     <MountAfter>
       <RunApp param="false" wait="false" check exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </MountAfter>
     <DeploymentBefore> <!-- フォルダーリダイレクション設定開始直前(ZENMU モードで初回に一度だけ実行) -->
       <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </DeploymentBefore>
     <DeploymentAfter> <!-- フォルダーリダイレクション設定開始直後(ZENMU モードで初回に一度だけ実行されま
す) -->
       <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </DeploymentAfter>
     <UnMountBefore>
                       <!-- 仮想ドライブアンマウント直前 -->
       <KillAppName>c:\Windows\notepad.exe</KillAppName> <!-- KillAppName:プログラム(.exe)の強制終
了。<UnMountBefore>のみ指定可 -->
     </UnMountBefore>
     <UnMountAfter>
                      <!-- 仮想ドライブアンアンマウント直後 -->
       <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </UnMountAfter>
     <ReMountBefore>
                       <!-- 仮想ドライブ再マウント直前 -->
       <!-- 以下は OneDrive を終了させる例 -->
       <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </ReMountBefore>
     <ReMountAfter>
                       <!-- 仮想ドライブ再マウント直後 -->
       <RunApp param="false" wait="false" check exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </ReMountAfter>
                       <!-- 仮想ドライブ削除直前に呼び出すコマンドを指定する -->
     <DeleteBefore>
       <RunApp show="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </DeleteBefore>
                       <!-- 仮想ドライブ削除直後 -->
     <DeleteAfter>
       <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
     </DeleteAfter>
                      </RunCommand>
  </Operation>
</ZVDesktop>
```

5.2.1. プログラムの起動トリガーとなるタグについて

マウント等のトリガーで任意のプログラム、バッチファイル、スクリプトファイルを起動するには、以下の指定をします。

<RunCommand><プログラムの起動トリガーのタグ><RunApp>

<RunCommand>タグの属性、属性値は以下の通りです。

● 親タグ: <ZVDesktop><Operation>

タグ	属性	属性值
RunCommand	timeout	起動トリガーとなるタグ(<zenmumodelogon>等)で実行を指定したプロ</zenmumodelogon>
		グラムのプロセスが終了するまでの待ち時間(msec)を指定。
		-1を指定した場合は、待ち時間無制限。
		未指定の場合:60000(60秒)
		例:timeout="60000"

- <RunCommand>の注意事項
 - > 指定した時間内にプログラムが終了しない場合は、エラーと判断します。
 - ▶ timeoutの指定が-1の場合、ZVDはプログラムの終了まで待ち続けます。
 - ▶ timeout が未指定の場合は 60000(60 秒)が既定値としてセットされます。

マウント、アンマウント等のプログラムの起動トリガーのタグは、以下の種類があります。

● 親タグ: <RunCommand>

プログラムの 起動トリガーのタグ	トリガー
ZenmuModeLogon	ZENMU モードで ZENMU モードスタートアップ画面が立ち上がった直後
CreateBefore	仮想ドライブ作成直前
CreateAfter	仮想ドライブ作成直後
MountBefore	マウント直前
MountAfter	マウント直後
DeploymentBefore	フォルダーリダイレクション設定開始直前、
	仮想ドライブに移動するフォルダーおよび元に戻すフォルダーの移動開始直前
DeploymentAfter	フォルダーリダイレクション設定終了直後、
	仮想ドライブに移動するフォルダーおよび元に戻すフォルダーの移動終了直後
UnMountBefore	アンマウント直前
UnMountAfter	アンマウント直後
ReMountBefore	再マウント直前
ReMountAfter	再マウント直後
DeleteBefore	仮想ドライブ削除直前
DeleteAfter	仮想ドライブ削除直後

> 以下の書式で設定します。詳細は 5.2.2 を参照してください。

<RunCommand><プログラムの起動トリガーのタグ> <RunApp>プログラムの絶対パス</RunApp> </プログラムの起動トリガーのタグ></RunCommand>

5.2.2. プログラムの起動設定方法の詳細

プログラムの起動トリガーのタグの後に<RunApp>に属性と属性値、起動するプログラム、バッチファイル、スクリプトファイル (以下「プログラム等」)を指定します。

また、プログラムのトリガーのタグが<MountBefore>、<UnMountBefore>の時のみ、<KillAppName>タグを指定してマウント直前やアンマウント直前に強制終了したいプログラム等の実行ファイル名を指定することができます。

タグ	属性	属性値
RunApp	show	起動するプログラムの表示可否 true(表示)[既定値]/false(非表示)を指定
		例: show="true"
	param	起動するプログラムに、ZENMU Virtual Desktopの引数(プログラムの起動トリガーを表
		す文字列/仮想ドライブ文字情報)をtrue(指定して起動)[既定値]/false(非表
		示)を指定
		例: param ="true"
		※ <u>5.2.3</u> 参照
	wait	起動したプログラムの終了を true (待つ) [既定値]/false(待たない)を指定
		例: wait ="true"
	check_exitcode	起動したプログラムの終了コードの確認可否 true(確認する) [既定値]/false(確認しな
		い)を指定
		例: check_exitcode ="true"
		※wait="true"のときのみ有効。
		※trueの場合は終了コード=0 でない場合はエラーと判断
KillAppName	show	起動するプログラムの表示可否 true(表示)[既定値]/false(非表示)を指定
		例: show="true"

● 親タグ: <プログラムの起動トリガーのタグ>

● <RunApp>の書式

<RunApp param="false" show="false" wait="true" check_exitcode="false">起動するプログラム の絶対パス</RunApp>

<KillAppName>の書式
 <KillAppName>explorer.exe</KillAppName>

● <RunApp>の注意事項

- > 属性が未指定の場合は、既定値が設定されたとして動作します。
- プログラム等は絶対パスで指定し、絶対パスに空白文字を含む場合は""で囲む必要があります。また環境変数を 使用することも可能です。
- ▶ 指定するプログラム独自の引数を指定することが可能です。(例:notepad.exe c:¥test.txt)
- 1つの<プログラムの起動トリガーのタグ>で複数のプログラム等を指定することが可能です。起動するプログラム等ごとに<RunApp>タグを設定してください。
- ▶ 「check_exitcode = "true"」を指定した場合は、「プログラムの終了コード=0」をプログラムの正常終了と判定します。0以外の場合はエラーと判定します。
- なお、「check_exitcode」は「wait="true"」の場合のみ有効となります。
- プログラムの起動トリガーのタグが "Before"で終わる <CreateBefore>、<MountBefore>、<<DeploymentBefore>、<UnMountBefore>、<ReMountBefore>、<DeleteBefore>の場合は、
 check_exitcode がエラーとなった場合は、その後のマウント等の処理はキャンセルされます。

例)

〈MountBefore〉 理培杰 #6-5745	
·····································	
バスにスペースがある場合は""で囲む	
\sim Charles the set of the set o	al ▼ exe [@] /F
<pre><runapp param="false" show="true" wait="false">C:\test\test.exe(-a\/RunApp></runapp></pre>	
	るご考えたり目的
フロクラム独自	の「一致が相上り能
◇ プログラム 1:「C:¥Test Program¥taskkill.exe」の実行	
○ show="false" : C:¥Test Program¥taskkill.exe は表示し	ない
○ param="true" : ZENMU Virtual Desktopの引数を指定する	る ※ <u>5.2.3</u> 参照
○ wait="true" : プログラムの実行の終了を待つ。	
○ check_exitcode="false" : プログラムの終了コードは確認しない。	
◇ プログラム 2:「C:¥test¥test.exe」の実行	
○ show="true" : C:¥test¥test.exe を表示する	
○ param="false" : ZENMU Virtual Desktopの引数を指定しな	ない※ <u>5.2.3</u> 参照
〇 wait="false" : プログラムの実行の終了を待たない。	
<killappname>の注意事項</killappname>	
▶ プログラムのトリガーのタグが <mountbefore>、<unmountbefore>の時のみ指定でき</unmountbefore></mountbefore>	ます。

5.2.3. ZENMU Virtual Desktop の引数について

既定では ZENMU Virtual Desktop の引数(プログラムの起動トリガーを表す文字列/仮想ドライブ文字情報)を引数 として指定されます。

引数を指定せずに起動したい場合は<RunApp> タグで param="false" を指定して下さい。(5.2.2 参照) ZENMU Virtual Desktop の引数は以下の通りです。

-cmd [起動トリガーを表す文字列] -vdrive [仮想ドライブ文字]:

• 例:-cmd create_before -vdrive Z:

起動トリガーを表す文字列	起動トリガーのタグ	トリガー
zenumode_logon	ZenmuModeLogon	ZENMU モードで ZENMU モードスタート
		アップ画面が立ち上がった直後
create_before	CreateBefore	仮想ドライブ作成直前
create_after	CreateAfter	仮想ドライブ作成直後
mount_before	MountBefore	マウント直前
mount_after	MountAfter	マウント直後
deployment_before	DeploymentBefore	フォルダーリダイレクション設定開始直前
deployment_after	DeploymentAfter	フォルダーリダイレクション設定終了直後
unmount_before	UnMountBefore	アンマウント直前
unmount_after	UnMountAfter	アンマウント直後
remount_before	ReMountBefore	再マウント直前
remount_after	ReMountAfter	再マウント直後
delete_before	DeleteBefore	仮想ドライブ削除直前
delete_after	DeleteAfter	仮想ドライブ削除直後

例)仮想ドライブが Z ドライブの場合

<CreateBefore> <RunApp param="false" show="false" wait="false">C:\test\test.exe</RunApp>

</CreateBefore>

起動されるプログラムとその引数

C:\test\test.exe -cmd create_before -vdrive Z:

5.3. アンマウント時に削除するファイルの指定

アンマウント時に任意のファイル、またはフォルダー内の全てのファイルを削除する指定が可能です。ログオンユーザーアカウント で削除できるファイルのみ削除可能です。フォルダーを指定した場合は、そのフォルダー以下のファイル、サブフォルダーが削除さ れます(指定されたフォルダー自体は削除されません)。

例)

親タグ: <ZVDesktop><Operation><DeleteFolderFiles>

タグ	属性	属性值
Folder	path	アンマウント時にフォルダー内の全てのファイルを削除するフォルダーを指定。 指定したフォルダー以下のサブフォルダー、ファイルをアンマウント時に削除。 (指定したフォルダー自体は削除対象外) 例: path="c:¥testFolder"
File	path	アンマウント時に削除するファイルを指定。 例: path="c:¥testFolder¥test.txt"

5.4. 仮想ドライブに移動するフォルダーの指定

ZENMU モードで仮想ドライブ作成時は、フォルダーを最大 **20** 個まで仮想ドライブに移動可能です。本機能は Windows の「ジャンクション (Junction)」機能を利用して実現しています。また、移動できるフォルダーは ログオンユーザーでアクセス (コピー、削除) できるフォルダーのみです。

Ver1.4 以降では、「設定 XML ファイル」に追加指定したフォルダーは、次回に ZENMU モードスタート画面で「START」を クリックときに仮想ドライブに移動されます。一方、「設定 XML ファイル」から削除したフォルダーは、次回に ZENMU モードス タート画面で「START」をクリックときに仮想ドライブから元の位置に戻されます。

Ver1.3以前に作成した仮想ドライブに対して移動を行う場合、「設定 XML ファイル」に設定後、仮想ドライブ変更時の 「詳細設定」画面で、「設定 XML ファイル」に指定されているフォルダー」をオンにする必要があります。 フォルダーは「Z:¥Users¥[username]¥Junction¥」配下に移動され(仮想ドライブがZドライブの場合)、移動元 のフォルダーにはジャンクションが作成されます。

Microsoft Outlook 2016 以上の Outlook データフォルダー (%LOCALAPPDATA%¥Microsoft¥Outlook)を 仮想ドライブの「Z:¥Users¥[username]¥Junction¥Outlook」に移動し、Outlookの OST ファイルが仮想ドライブ 上で正常に読み込め、Outlook が動作することを確認済みです。Outlook 側の設定変更は不要です。

例) Microsoft Outlook 2016の Outlook のフォルダーを仮想ドライブに移動

xml version="1.0" encoding="UTF-8"?
<zvdesktop></zvdesktop>
<operation></operation>
<junctionfolders></junctionfolders>
<junction <="" name="Outlook2016" source="%LOCALAPPDATA%\Microsoft\Outlook" td=""></junction>
<pre>target="Outlook" /></pre>

親タグ: <ZVDesktop><Operation><JunctionFolders>

タグ	属性	属性值
Junction	name	移動するフォルダー名を指定。(本値は内部的に利用)
	source	移動するフォルダーのパスを指定。
		"%LOCALAPPDATA%"等の環境変数が利用可能。
target 移動先のサブフォルダー名を指定。 このタグで指定されたフォルダーは、仮想ドライブの Z:¥Users¥[ユーザー名		移動先のサブフォルダー名を指定。
		このタグで指定されたフォルダーは、仮想ドライブの Z:¥Users¥[ユーザー名]¥Junction
		フォルダー配下(仮想ドライブがΖドライブの場合)に移動される。
		例:target="outlook"
		Z:¥Users¥[ユーザー名]¥Junction¥outlook フォルダーが作成される
		source で指定されたフォルダーが「outlook」フォルダー移動される。

5.5. バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS 使用の設定

オフラインストレージに設定する USB メモリーに暗号化 USB メモリーを指定したい場合は、バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS シリーズが動作確認済みです。ただし、「設定 XML ファイル」に設定を追加する必要があります。 仮想ドライブ作成後に RUF3-HS が USB メモリーを暗号化している場合は、自動的に復号化プログラムを起動してパスワ ード入力画面を表示し、復号化が確認できた後に仮想ドライブをマウント等することが可能となります。

```
例)

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>

<ZVDesktop>

<Operation>

<UsbDevConfig>

<Vendor VendorId="0411" Name="Buffalo">

<Product DecryptionProgramPath="\OPEN_HS.exe">

<ProductId>026F</ProductId>

</ProductJ</productJ</productId>

</UsbDevConfig>

</Deration>

</ZVDesktop>
```

• 親タグ: <ZVDesktop><Operation><UsbDevConfig>

タグ	属性	値	意味
<vendor></vendor>	VendorId	411	バッファロー社製 USB の VendorId
	Name	Buffalo	ベンダーの名前
<product></product>	DecryptionProgramPath	¥OPEN_HS.exe	復号化プログラムのファイル名
<productid></productid>	-	026F	RUF3-HSのProductId

5.6. 特定のアプリケーションをアンマウント時に終了対象外に指定

「ZENMU Virtual Desktop の設定」-「アンマウント」-「アプリケーションの終了を確認する」を指定した場合に、有効となる 設定です。アンマウント時に終了確認を表示させたくないアプリケーション、または終了させたくないアプリケーションが存在する 場合、特定のアプリケーションを終了対象外に指定することが可能です。

指定個数に上限はなく、複数指定することも可能です。

例) メモ帳と Outlook を終了対象外にする設定

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
<Operation>
<AppShutdownExceptionList>
<App name="notepad.exe" />
<App name="OUTLOOK.exe" />
</AppShutdownExceptionList>
</Operation>
</ZVDesktop>
```

• 親タグ: <ZVDesktop><Operation><AppShutdownExceptionList>

タグ	属性	属性值	
Арр	name	終了対象外にするアプリケーションの実行ファイルを指定。	
		<app>タグを複数行記述し、複数のアプリケーションを指定することが可能。</app>	
		例: 乄モ帳 : App Name="notepad.exe"	
		Outlook : App Name="OUTLOOK.EXE"	

6. ZENMU モードスタート画面の設定

ZENMU モードで仮想ドライブを作成した場合、Windows ログイン直後の ZENMU モードスタート画面のボタン文字列設定、「ブラウザーの起動」「デスクトップ/エクスプローラーの表示...」「インターネットのプロパティを起動」メニューを表示するかどうか設定可能です。

例)

xml version="1.0" encoding="UTF-8"?
<zvdesktop></zvdesktop>
<ui></ui>
<shell></shell>
<titlestart>スタート</titlestart>
<titleexit>終了</titleexit>
<browserexec disp="enabled"></browserexec>
<explorerexec disp="enabled"></explorerexec>
<inetpropexec disp="disabled"></inetpropexec>

● 親タク: <zvdesktop><ui><shell></shell></ui></zvdesktop>		
タグ	值	
TitleStart	スタートボタンの文字列を設定。	
	例: <titlestart>スタート</titlestart>	
TitleExit	Windows 終了時のボタンの文字列を設定。	
	例: <titleexit>終了</titleexit>	

タグ	属性	属性値	
BrowserExec	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「!」を選択したときに、「ブ	
		ラウザーの起動」メニューを表示するか指定する。	
		"enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"enabled": 表示。	
		例) disp="enabled"	
ExplorerExec	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で Ctrl を押しながら右クリックしたときに、 「デスクトップ/エクスプローラーの表示」メニューを表示するか指定する。	
		"enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"enabled": 表示。	
		例) disp="enabled"	
InetPropExec	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「:」を選択したときに、「イ	
		ンターネットのプロパティを起動」メニューを表示するか指定する。	
		"enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"enabled": 表示。	
		例) disp="disabled"	

7. 仮想ドライブ作成後のロールバック設定変更

仮想ドライブ作成後に、設定画面を表示せずにロールバックの設定変更をすることができます。

設定は、ZENMU モードの場合は次回の Windows サインイン直後、非 ZENMU モードの場合は次回の ZVD 起動時に 反映されます。

ZENMU モードで仮想ドライブ作成時に、4.1.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定による Rollback、 RollbackCommitNotifyCycle、RollbackCommitNotifyCountDown と本章に記載の設定を両方行った場合は、 本章に記載の設定が仮想ドライブのロールバック設定になります。

本章に対応する記載が設定 XML ファイルにない場合は、ロールバックの設定は変更されません。

例1)特定のWindowsユーザーのみに設定変更する場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
<VirtualDrive>
<Rollback Enable="true" CommitNotifyPeriodMin="10" CommitCountdownSec="0"
Domain="zenmutech.com" User="zvd" />
</VirtualDrive>
</ZVDesktop>
```

例 2) すべての Windows ユーザーに設定変更する場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
<VirtualDrive>
<!-- Domain、Userを記載しないようにします -->
<Rollback Enable="true" CommitNotifyPeriodMin="10" CommitCountdownSec="0" />
</VirtualDrive>
</ZVDesktop>
```

タグ	属性	属性值	
Rollback	Enable	ロールバック用ファイル作成をするかどうか。true(作成する) /false(作成しない)	
		を指定。	
		例: Enable="true"	
	CommitNotifyPeriodMin	ロールバックデータの自動保存間隔 (分)。	
		0/10/20/30/40/50/60/120/180を指定可能。0を指定した場合、自動	
		保存しない設定になる。	
		例: CommitNotifyPeriodMin="10"	
	CommitCountdownSec	ロールバックデータ通知と通知後の自動保存間隔(秒)を指定。-1を指定した場	
		合は「通知のみ」、0を指定した場合は「通知せず、すぐに保存」になる。	
		例: CommitNotifyPeriodMin="10"	
	Domain	設定変更対象ユーザーの Windows ドメイン名。ドメインに所属していない PC	
		の場合は、コンピューター名を指定する。	
		例: Domain="zenmutech.com"	
		属性 User を指定する場合は、本属性は必須。	
		Domain 属性と User 属性の両方が存在しない場合、すべての Windows ユ	
		ーザーが設定変更対象になる。	

● 親タグ: <ZVDesktop><VirtualDrive>

User	設定変更対象ユーザーの Windows ユーザー名。
	例: User="zvd"
	属性 Domain を指定する場合は、本属性は必須。

8. 付録

8.1. OneDrive のキャッシュフォルダーを仮想ドライブに設定した場合の設定方法

OneDrive のキャッシュフォルダーを仮想ドライブに移動する場合は、「設定 XML ファイル」に記述が必要となります。

OneDrive を利用している状態で、「ZENMU Virtual Desktop の設定」-「その他」-「エクスプローラー上で非表示、アク セス禁止にするドライブ」-「コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ」にチェックを入れて ZENMU Virtual Desktop の 仮想ドライブを作成した場合、OneDrive のフォルダーパスは、デフォルトの C ドライブ配下のままとなるため、仮想ドライブで OneDrive のキャッシュフォルダー(以下フォルダー)を利用することができなくなります。

OneDrive のフォルダーを ZENMU Virtual Desktop の仮想ドライブに移動する手順は、以下の通りです。

8.1.1. 仮想ドライブの作成

OneDrive のフォルダーの移動設定は、仮想ドライブの作成後に行いますので、先ずは通常の手順で仮想ドライブを作成してください。

8.1.2. OneDrive の同期を停止

ZENMU モードで仮想ドライブをマウントします。タスクトレイにある OneDrive のアイコンをクリックします。 下段の「その他」をクリックし、表示された画面から「設定」を選択します。「アカウント」タブにある「この PC のリンク解除」を クリックします。



確認画面では、「アカウントのリンク解除」をクリックします。OneDriveからサインアウトした状態となります。

Microsoft OneDrive X		×
この PC 上のアカウントのリンクを解除しますか?		
アカウント (tamako.) るビジネス コンテンツ はこのデバイス上に残 す。	bunting@zenmutech.com) に の同期を中止します。ローカルで何 りますが、オンラインのみのファイル	関連付けられてい 된用できるファイル ルは削除されま
	アカウントのリンク解除	キャンセル

8.1.3. OneDrive への再ログイン

下記の画面から、再度 OneDrive ヘサインインします。空欄にアドレスを入力し、「サインイン」をクリックします。 サインインが完了すると、OneDrive フォルダーの場所を変更できる画面が表示されます。「OneDrive フォルダーはここにあり ます」下部で表示される通常の場所は C ドライブ配下(C: ¥)となっていますので、こちらを仮想ドライブ配下に変更しま す。「場所の変更」をクリックします。



8.1.4. OneDrive フォルダーの場所の変更

「ZENMU Virtual Desktop の設定」-「その他」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」-「コンピュー ター内蔵のハードディスクのドライブ」にチェックを入れている場合は、「場所の変更」をクリックすると以下のメッセージが表示さ れます。これは、Cドライブがエクスプローラー上で非表示、アクセス禁止になっていて利用できないことにより、Windows によ り表示されるエラー画面となります。こちらは Windows の仕様なので問題ありません。

「OK」をクリックし、エラー画面を閉じてください。エクスプローラーが起動し、移動先のフォルダーの選択が可能になります。 ここでは、仮想ドライブ(Zドライブ)フォルダーを選択します。「フォルダーの選択」をクリックします。



8.1.5. OneDrive を仮想ドライブ上で利用

OneDrive のフォルダーが指定した仮想ドライブに変更されたら、その後表示される各画面で「次へ」をクリックします。 「OneDrive の準備ができました」の画面で「OneDrive - (OneDrive アカウント名)を開く」をクリックすると、仮想ドライ ブ上で OneDrive が利用可能となります。



8.1.6. 注意事項: OneDrive 側でのバックアップの禁止

OneDrive には、「デスクトップ」「ドキュメント」「写真」の3つのフォルダーをOneDrive で同期する機能があります。 タスクトレイにある OneDrive のアイコンをクリックした後、下段の「その他」をクリックし、表示された画面から「設定」-「バックア ップ」-「バックアップを管理」をクリックすると、フォルダーのバックアップを開始する画面が表示されます。画面右下の「バックアップ の開始」をクリックすると、「デスクトップ」、「ドキュメント」、「写真」の3つのフォルダーがOneDrive フォルダーに追加され、バッ クアップされます。

注意:「バックアップの開始」は決してクリックしないでください!

理由: ZENMU Virtual Desktop はデスクトップフォルダー等の Windows の既知のフォルダーを稼働ドライブに移動する 際、レジストリキーを変更します。OneDrive での「バックアップを管理」でバックアップを開始してしまうと、OneDrive がデスクトップフォルダー等を移動する際にレジストリキーを変更してしまい、仮想ドライブ運用中および削除時に様々 な問題が発生してしまいます。



8.1.7.「設定 XML ファイル」記載方法

仮想ドライブ上で OneDrive を利用する際には、「設定 XML ファイル」に以下の太字部分のような記載を行います。 これは、マウント中に外部ストレージが切断および再接続された後、およびフルバックアップ後に、 OneDrive が動作を停止し てしまうことを防ぐためのものです。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDesktop>
  <Log>
    <SavePeriod>30</SavePeriod>
  </Log>
  <Operation>
    <RunCommand timeout="60000">
      <ReMountBefore>
        <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">taskkill.exe /IM
OneDrive.exe /F</RunApp>
      </ReMountBefore>
      <ReMountAfter>
        <RunApp param="false" wait="false"
check exitcode="false">%LOCALAPPDATA%\Microsoft\OneDrive\OneDrive.exe</RunApp>
      </ReMountAfter>
      <MountBefore>
        <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">taskkill.exe /IM
OneDrive.exe /F</RunApp>
      </MountBefore>
      <MountAfter>
        <RunApp param="false" wait="false"
check_exitcode="false">%LOCALAPPDATA%\Microsoft\OneDrive\OneDrive.exe</RunApp>
      </MountAfter>
    </RunCommand>
  </Operation>
</ZVDesktop>
```

8.2. VPN クライアントを ZENMU モードスタート画面に表示する場合の設定方法

ZENMU モードで仮想ドライブを作成した場合、VPN 認証用に、Windows ログイン直後の ZENMU モードスタート画面 で VPN クライアントを表示する場合は、「設定 XML ファイル」に記載が必要となります。 Windows ログイン直後の ZENMU モードスタート画面に VPN クライアントを表示する手順は、以下の通りです。

「設定 XML ファイル」に、以下の太字部分のような記載を行います。 これは、ZENMU モードでマウント前に VPN 認証が必要な場合、VPN クライアントを ZENMU モードスタート画面で起動 するためのものです。

例) PulseSecure を ZENMU モードスタート画面に表示する設定

xml version="1.0" encoding="UTF-8"?
<zvdesktop></zvdesktop>
<log></log>
<saveperiod>30</saveperiod>
<operation></operation>
<pre><ru></ru></pre> <pre></pre>
<zenmumodelogon></zenmumodelogon>
<runapp param="false" show="true" wait="false">"C:\Program Files (x86)\Common</runapp>
Files\Juniper Networks\JamUi\Pulse.exe" -show

青字部分をご利用の VPN クライアントの実行ファイルに置き換えます。実際の起動には引数が必要となることがあるため、当該実行ファイルのデスクトップ等のショートカットを右クリックしてプロパティを表示し、「ショートカット」-「リンク先」をコピーし、青字部分に貼り付けて下さい。

例: VPN ソフト - PulseSecure の場合

引数 "-show"が必要となります。



以上